



探究的な学習研究推進通信

Fukutomi Inquiry Learning Team



令和3年
9月21日
(火)
No.5

○9月に入りました。いよいよ探究的な学習の本格実施です！

ついに、夏休み前より先生方に計画を立てていただいた「単元ストーリー」や「導入時学習指導案」を実践するときがやってまいりました。この計画をよりよいものにするために、夏休み中にも協議を繰り返してきました。福富の地域を知るために自転車で町内を周遊された先生もいらっしゃるお聞きしております。探究学習をより充実したものにするためには、児童生徒が教材を「自分ごと」として捉えるかどうかが鍵を握っています。きっと先生方の努力が実を結び、子どもたちのワクワクが止まらないような探究的な学習が展開されるのではないかと、今からが楽しみです。私達職員もグループを超えて連携し、児童生徒に負けないぐらい、ワクワクするような授業を実践していきましょう！



○第2回研究推進協議会(オンライン)



9月13日(月)に、第2回研究推進協議会がオンラインで行われました。西部教育事務所より宮田知典指導主事、東広島市教育委員会より花岡拓也指導主事に参加していただき、「単元ストーリー」や「導入時学習指導案」のブラッシュアップのため、ご助言をいただきました。その内容について、お知らせします。



グループ	プロジェクト名	単元の簡単な流れ	宮田指導主事より
小学校 1・2年生	ふくとみいいね！ おしえたい！	こども園の先生からミッションを受け、年長さんたちに伝えるため、「学校」と「道の駅」について調べます。	・看板や案内図など、お客様に分かりやすくする工夫に着目させて伝えることができるとよいのではないかと。 ・遠足に行った時の記憶をたどって、学びと結び付けるとよい。どんな人たちが道の駅を利用していたかなど。
小学校 3・4年生	福富の自然 守り隊	自分たちが育てている学級園が獣被害にあっていることから、福富の自然は本当「豊か」なのか考えます。	・課題のもたせ方がポイントなので、撮影を行うなど、教材との出会わせ方に工夫をしてほしい。 ・「豊かさ」を多面的に捉えると、立場によって見え方が変わる。児童に気付かせたい。
小学校 5・6年生	夢の実現 プロジェクト f	福富の人口推移など様々なデータから、福富の魅力ある人たちに触れ、魅力アピール動画を作成します。	・こちらが会わせたい人をイメージしておくことは大切だが、児童が実際に会いたい人とは違う可能性がある。その場合、児童が本気で探究したいと思っているほうに思い切ってチャレンジしてほしい。
中学校 1・2年生	福富再発見！	「道の駅の集客」という点を踏まえ、魅力を見つめ直します。そして、何を発信すべきか考えていきます。	・小学校1・2年生でも道の駅を扱うので、連携できる場所は連携してみると面白い。発達段階に応じて、同じ設備を見ても感じ方は違うので、多面的な視点で道の駅をとらえることができるのではないかと。
中学校 3年生	福富提言	福富の魅力や課題について多面的な資料から把握し、福富の「よりよい未来」を作り出す仮説を立てます。	・今年は試験的な実施なので難しいが、外部に発信する工夫をしてみるとよりよい成果が得られるのではないかと。回覧板など、提言を地域の人たちの目に触れる形になるようまとめるとよいのではないかと。

今後は、各グループで行っている活動や今後の予定、児童生徒の振り返りなど、全体で共有していきたいと考えています。「ぜひこれはみんなに知ってもらいたい！」と思う内容がありましたら、お近くのFITメンバーにお知らせください。(活字の形で渡していただくと編集担当者が助かります。)

また、宮田指導主事からのお話として右上にある広島県の探究的な学習の在り方に関する研究推進のポイント(プロジェクト型学習を参考にしたもの)の確認と、以下の3点のアドバイスがありました。

研究推進のポイント

- ・「答え(ひとつの解)のない問い」を扱う学習
- ・実生活・実社会の課題を解決する学習
- ・社会へ還元する学習

単元ストーリーについて

例えば、綿密に立てた旅行計画があったとします。しかし、実際に旅行に行ってみれば計画にはない魅力的な観光スポットや、おいしそうなお店は必ずあります。同じように、探究的な学習を進めるにあたって先生方が頑張って作ってこられた単元ストーリーがあるわけですが、ストーリーにそぐわない児童生徒の発言にどう対応していくか考えておかなければなりません。実は、それこそ子どもたちが本気で探究したいと思っているものかもしれません。ぜひ思い切ってやってみてください。



全体計画に立ち返る

迷ったときは、全体計画に立ち返りましょう。児童生徒に身に付けさせたい資質・能力や目標など、すべてが詰まっています。(職員室、FIT通信の下に掲示しておきます！)

外部人材の活用

緊急事態宣言など、校外活動や講師招聘が難しい状況が続きます。しかし、ピンチをチャンスと捉えて、この機会に地域人材の見直しや洗い出し(探究的な学習にフィットするかどうか)やオンラインを活用した講話など、全体を俯瞰してこの状況での最善の方法を考えてみてください。



これからの予定

○11月4日(木) 全員参加

第3回研究推進協議会

義務教育指導課(県) 小坂指導主事来校
東広島市教育委員会 花岡指導主事来校

○冬季休業中 3日間終日

ドリームマップ理論研修

FITのみ

この欄では、各グループのこれからの予定、どの場所をいつ使用するのか、講師招聘や校外活動など、情報を全体共有していきたいと考えています。職員室、FIT通信の横に記入する場所を設けておきますので、計画が決定次第、記入するようよろしくお願いします。

なお、バスの使用などの校外活動は2週間前までに、講師招聘につきましてはわかり次第、朝倉教頭先生に相談するようよろしくお願いします。

先達の言葉

経験を賢く生かすならば、
何事も無駄ではない。

オーギュスト・ロダン(フランスの彫刻家)

宮田指導主事のお話の中で、外部の講師に依頼せずとも、先生方の今までの経験の中にお互いに学ぶべきことがあるのではないかとご示唆をいただきました。私達の今までの経験の中に、解決のヒントがあるかもしれません。成功だけでなく、失敗の経験もプラスに変えることができると思います。なかなか議論する時間はとれませんが、積極的に意見交流していきましょう！